

第4 1回 六甲クイーンズオープントーナメント

8名による決勝ラウンドロビン対戦表

ROUND	2 1 L - 2 2 L	2 5 L - 2 6 L	2 9 L - 3 0 L	3 3 L - 3 4 L
1	姫路 麗 VS 久保田彩花	野仲 美咲 VS 堀井 春花	寺下 智香 VS 越智 真南	石田 万音 VS 川崎 由意
2	越智 真南 VS 川崎 由意	寺下 智香 VS 石田 万音	久保田彩花 VS 堀井 春花	姫路 麗 VS 野仲 美咲
3	寺下 智香 VS 堀井 春花	姫路 麗 VS 川崎 由意	石田 万音 VS 野仲 美咲	久保田彩花 VS 越智 真南
4	野仲 美咲 VS 越智 真南	石田 万音 VS 久保田彩花	姫路 麗 VS 寺下 智香	川崎 由意 VS 堀井 春花
5	石田 万音 VS 姫路 麗	堀井 春花 VS 越智 真南	野仲 美咲 VS 川崎 由意	寺下 智香 VS 久保田彩花
6	久保田彩花 VS 野仲 美咲	川崎 由意 VS 寺下 智香	堀井 春花 VS 姫路 麗	越智 真南 VS 石田 万音
7	堀井 春花 VS 石田 万音	越智 真南 VS 姫路 麗	川崎 由意 VS 久保田彩花	野仲 美咲 VS 寺下 智香
P・M	8位 VS 7位	6位 VS 5位	4位 VS 3位	2位 VS 1位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法はラウンドロビン方式です。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、“ラウンドロビン”の名称がつけられたと言われています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行いTV決勝進出者4名を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？ポイントは何のくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ TV決勝（4名によるステップラダー方式）

上位4名にて、順位ごとの対戦で勝つごとに順位を上げていく試合方法。

※トップシードの選手が優勝決定戦で敗退した場合、再優勝決定戦を行う。

